

研究者氏名：日比野 徳男

調査・活動テーマ：関係団体が協働して地域回想法を用いた多世代交流で地域の文化を伝承することにより、地域の人々が生き生きと暮らせるまちを創り出すための調査・研究

### 調査・活動の目的

知多市は高齢化が進んでおり、今後ますます介護問題などが深刻化してくると考えられる。

このような状況の中、昔懐かしい映像やものを見て、人と語り合う事で、脳を活性化させる効果が認められる「回想法」を、高齢者の健康増進や認知症予防の一つの手段として知多市に広めていきたい。

更には核家族化が進み、祖父母から昔生活の話を聞くことすらできない家庭が多くなっている現在、高齢者の生活体験（地域の文化）を若者に語るなど多世代交流を進める事で、地域文化を伝承し、高齢者のみならず地域全体がイキイキと暮らせるまちを創ることを目的とする。

### 調査や活動の取組内容および達成状況・成果内容

#### 1) 現状把握

①市内の高齢者の現状及び高齢者福祉計画の把握（4月～5月）

介護保険サービス事業所及びふれあい・いきいきサロン

②回想法アンケート調査（8月～10月）

アンケート依頼数80施設、回答数59施設  
回収率約74%

#### 2) 知識の習得

①回想法基礎研修及び専門研修を受講（北名古屋市6月）

②日本福祉大学公開講義聴講（地域における回想法プロジェクトの実際と課題）（7月）

③半田脳活倶楽部見学（半田保健センター9月）

④名古屋市認知症予防リーダー養成講座受講（1月～2月）

#### 3) 先進都市調査

①恵那市明智町回想法センター（8月）

②北名古屋市回想法センター（9月）

回想法の体験、高齢福祉課の職員さんとの交流

#### 4) 実践活動

①ふれあい・いきいきサロンで「思い出のふるさと」開催 2回（12月、1月）

②サロンドe寄り合いにて報告（サロンの代表者の集まり）アンケート調査の結果・回想法について説明（2月）

### 優れた効果・成果があがった点

①アンケート調査の実施で、回想法の認知度や実施状況は、ふれあい・いきいきサロンが低い事が分かった。

認知度：介護保険サービス事業所 100%

サロン 69%

実施：介護保険サービス事業所 60%

サロン 23%

②活動を通じて、行政、社会福祉協議会、サロンに私たちの活動が少しずつ認知され、つながりをつくることができた。

### 委嘱期間終了後の今後の展望

アンケート調査で、回想法の認知度・実施状況が低かった「ふれあい・いきいきサロン」を重点に、回想法を知って頂き、興味を持っていただくため、「思い出のふるさと」の実践活動を進めていく。

この活動を継続して回想法への理解・認知度を深める事により、「回想法実現の仕組み」を創り上げていきたい。

具体的には

①回想法を学ぶ仕組み

②学んだ事を地域で生かせる仕組み

③関係団体の協働の仕組み